

令和5年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

市川市教育委員会

1. 小学校の学習における活用方法（学校名：大野小学校）

小学校1年生がタイピング練習をしている写真。
毎週水曜日の朝の時間20分ほど「タイピングタイム」を低学年と高学年に分けて行っています。1クラスにつき5年生が2名ほどやってきて1年生に教えています。学年ごとのタイピング大会も実施。参加したい子が集まり、1分間に何文字打てるか競います。上位者は校長先生から賞状がもらえます。



2. その他の活用方法

市川市全特別支援学級教員に対して、研修を行いました。

音声入力で簡単に文字が打てる

「ディクテーション」機能を紹介しました。字が書けない児童生徒もこの機能を使えば、タブレットで作品等を作ることができます。また、キーボードのタイピングができない児童生徒にフリック入力ができることを紹介しました。障害の状態や特性やそれに伴う学びにくさは多様かつ個人差が大きく、障害のない児童生徒以上に「個別最適化した学び」⇨「特別な支援」が必要です。

